



県大会 個人戦 S 竹野谷



D 竹野谷・松澤

現役部員の大会後のコメントより

今回の新人戦団体の結果は予選ベスト12、県大会1回戦敗退で、負けた試合ではともに2-3の競り負けという悔しい結果で終わってしまった。9月の南部地区予選が終わってから2年生が2人となりこの3か月間しっかり自分やチームと向き合いながらやってきたつもりであったが、覚悟を持って臨むという姿勢が足りなかったことを実感した。現在1年生主体のチームである。チーム全体として「覚悟を持って臨む」ことを共有していくことが難しいところもある。しかし、これから4月の学総体（関東大会予選）までの3か月をどのように過ごすのか、自分自身はもちろん、チーム全体が強い覚悟を持てるのが鍵であると思う。

新人戦を終えて、チーム力が足りなかったということを実感した。正直、個々の力は五分五分あるいは浦高のほうが上であった。しかし、結果は2-3で惜敗。部員の仲は良いし、練習も真剣に取り組んではいるけれど、お互い遠慮して、弱点を指摘すること、アドバイスをすることが少ない感じがする。切磋琢磨して強くなるためには、時には認め合うことだけではなく指摘しあうことも大切なことであると思う。

納得のいく結果が残せなかった。練習量はもちろんだが練習の組み立て方や自分の課題や短所、意欲ややる気などほかのチームにはあって自分たちにはないようなものがたくさんあったように感じた。もし、きょう事故にあって卓球ができなくなったとしたら、やり残したことが多いままで絶対に後悔する。日々悔いのないよう精一杯取り組もうと思った。学総体（関東大会予選）ではシングルス、ダブルスともに県大会出場、団体戦は県ベスト16以上を目指したい。

直前までモチベーションが上がらず、練習の質も最悪であったが、運よく個人、団体の3種目県大会出場の最低目標は果たすことはできた。今現在の程度の練習の質、量で県大会に行けたということはチーム全体としてのポテンシャルは高いと思う。学業との両立が難しく今後も卓球に対する意欲をどれだけ維持できるか不安ではあるが、団体戦で県代表を目指して努力し続けたい。

団体戦の結果はオーダーミスであったかもしれない。もっと強気で仲間を信頼すべきであったかもしれない。

団体戦、自分の結果に予選通過がかかるという状況はしんどかった。どんな状況でも自分の力を発揮できるようにしたい。試合運びの面やメンタルの強化を考えたい。

今回負けた相手に勝てるように、次の大会までに課題（カット対策）を克服したい。

今回ダブルスで予選通過、県大会でも各上の相手に勝利できたことで、大きな達成感を味わうことができた。団体戦に初めて出場したが個人戦とは違う緊張感があった。今後は県でも勝ち上がれるようにしていきたい。

メンタルが改善できた。今後カット対策を練習したい。限られた時間を有効に使いたい。



団体1回戦 2-2 ラスト5番 岩井

令和元年度新人大会結果報告と感想 顧問大澤

OBの皆様には日頃より大変お世話になっております。今回の新人戦をふりかえってみますと、シングルスにて1名(他2名が敗者復活戦にて惜敗)、ダブルスにて2組(他2組は敗者復活戦にて惜敗)が県大会に進出ということで、これまでの成長が成果となった部分を見ることができたように思います。よく頑張ってくれていました。次の地区大会ではより多くの選手が上位に食い込んでくれることを期待したいと思います。団体戦では、地区大会ではぎりぎりの予選通過ということになってしまい、県で戦うには力不足であると改めて感じました。団体戦とはいえ、まずは個の選手の力が上がらないことにはどうにもなりませんので、そこからしっかり行う必要があります。また、要となるダブルスの質をいかに高めていくかを考えさせられました。次の4月の地区予選に向けて全力で取り組んでいきます。OBの皆様、今後ともよろしくお願ひします。



*卓球部OB会のお知らせ

2020年 3月 20日(金) AM 10:30～ 浦和高校体育館2F卓球場
現役対OB対抗戦等 会費不要 出欠の連絡不要 当日直接おいでください。

埼玉県立浦和高等学校卓球部OB会 公式 Homepage <https://urawakoukou-ttc-ob.jimdo.com/>

埼玉県立浦和高等学校卓球部OB会 事務局 tel 048-886-3000 (浦和高校内 顧問大澤)
e-mail urawakoukou-ttc-ob@jcom.home.ne.jp